

2019年1月号 Vol. 58 (2019年1月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生
初詣で賑わう長岡天満宮（本殿前の手水舎より）：長岡京市

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

新年のご挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成としては最後のお正月を迎えました。

来る五月には元号も新しくなる本年、心も新たに必要とされる医療・介護・福祉サービスの提供を中心に、職員一同、地域に貢献する千春会であり続けるよう努力して参ります。

2018年は地震・台風等による自然災害に数多く見舞われました。私達は行政・保健所等とも協力体制を敷いて、災害対策訓練にも積極的に参加し、備蓄品の確保とともに災害時の地域の支援拠点となるべく準備したいと考えております。

今後 2025年に高齢者人口が最大となると推計され、2040年からは総人口の減少に伴って高齢者人口自体も減少すると見込まれています。その2040年には100歳以上人口が30万人に達します。まさに人生100年時代、千春会としてもその時、その時代に合わせた計画・ニーズへの対応を今年も進めていく所存です。

そういう中で、個々人が人生最期の時をどのように過ごすか、過ごしたいか、今後は厚労省の言う「人生会議」を家族・地域の皆で考えていくことにもなるでしょう。それを下支えする地域包括ケアシステムの実現に向け、地域の医療機関、介護事業所、行政機関、民間の力を合わせ、機能分化した地域完結型の医療介護福祉サービス提供体制の強化が求められています。

本年の千春会としての新しい事業ですが、阪急西山天王山駅前にて、子育て支援・待機児童対策を目的に長岡京市から協力を依頼された保育園を開園致します。その同じ建物の上階には、近隣にて運営する超強化型介護老人保健施設「春風」のサテライト老健（29床）と、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護事業所を併設させ、「保育・高齢者向け複合施設」としてオープン致します。

さらに千春会病院本体については、今後の増改築と耐震化に向けて、準備・検討を着々と続けているところです。

当院では「急性期一般入院料1」の基準の病棟60床の中に、24床の「地域包括ケア病床」を届出し、急性期の治療と回復期治療としてのリハビリテーションを積極的に行っています。乙訓地域での回復期病床機能を果たすと同時に、多職種によるチーム医療で早期の在宅生活の準備ができるように努めています。

在宅療養においては「訪問診療」のみならず、「訪問看護」「訪問リハビリ」「訪問栄養指導」などのサービスを提供して、近隣の医療機関とも連携しながら支援致します。さらに在宅での終末期医療、看取りについても、訪問看護ステーションとも協力してその役割を果たしております。

また、積極的緩和治療の一翼を担う「ガンの温熱療法」は、千春会ハイパーサーミアクリニック（JR長岡京駅前バンビオ7階）で行っており、千春会病院では癌による難治性腹水に苦しめられている多くの患者さんに「KM-CART（腹水濾過濃縮再静注療法）」を国内第2の実績数で続けています。また、このクリニックでの夜間、土曜午後の時間帯における「小児救急外来」も、乙訓地域で少しずつ認知されて参りました。

千春会は菊地孝三理事長の掲げる『医療と介護の融合』を合言葉に、3つの理念を大切にしていって、本年も良質な医療・介護・福祉サービスを提供し、医療系・介護系スタッフ全員で、「多職種協働・チーム医療・チーム介護」を実践してまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ご存じですか？

充実の整形外科

常勤ドクター2名体制で外来、手術に対応

整形外科

整形外科部長 石井 清隆 先生
副部長 金村 卓 先生



(左)金村先生、(右)石井先生

肩、腰、膝に
痛みのある方は、
お気軽に
ご相談下さい。

皆さまに受診していただき易いよう、当院では、整形外科常勤医師2名の体制で、充実した診療体制を整えております。

現在、リハビリも含めた外来診療とともに、主に骨折を対象とした手術も実績を重ねています(2017年4月～2018年3月：総手術数57例)。

年齢を経るごとに「骨粗しょう症」などの骨折リスクも高まってきます。骨密度測定などの検査で、自分の身体の状態を知り、薬による治療だけでなく、運動療法等を含めた早期治療、早期対応をすることは、寝たきり予防にもつながります。さらに関節軟骨がすり減る変形性関節症などの痛みや骨格筋の衰えなど、様々な要因による痛みもあります。肩やひざ、腰などの痛みも早期に状態を知ること、外科的治療で軽減できることも多いものです。

当院の先生方が、運動の視点からも「転倒予防」や「リハビリ」など、適切なアドバイスで対応させていただいておりますので、お気軽にご相談下さい。

手術後のリハビリ継続や在宅復帰目的の患者さんなどにも対応すべく、近隣の基幹病院からも積極的にご紹介を受け入れています。また地域包括ケア病床(24床)を利用して、腰椎圧迫骨折など保存的療法が必要な方の入院などもお受けしており、治療後にはかかりつけの医院にて受診いただいております。病院・診療所の先生方もぜひ、お気軽にお問い合わせ下さい。

整形外科医師紹介

整形外科部長
石井 清隆

<資格>

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ医
日本リハビリテーション医学会専門医
愛媛大学医学博士

整形外科副部長
金村 卓

<資格>

日本整形外科学会専門医
日本骨粗鬆症学会認定医
日本整形外科学会認定リハビリテーション医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本体育(スポーツ)協会公認スポーツドクター
日本外傷診療機構 JATEC インストラクター
京都府ラグビー協会医務委員
全日本病院協会 AMAT 隊員

整形外科診療日

■ 外来(リハビリ含む)、手術日

【午前診】 受付時間 8:00～12:15 (診察時間 9:00～12:30)

【夜診察】 受付時間 17:00～19:45 (診察時間 18:00～20:00)

	月	火	水	木	金	土
午前診	金村	石井	金村	石井	—	石井(1・3・5週) 金村(2・4週)
午後	—	手術日	手術日	手術日	—	—
夜診察	金村	—	石井	金村	石井	—

【手術対応可能症例】

- ① 下肢手術(下肢骨折、大腿骨近位部骨折など)
- ② 上肢手術(手関節骨折、肘関節骨折、前腕骨骨折など) 他

お問い合わせ

★お気軽に
ご相談ください。

千春会病院 ☎(075) 954-2175

これからの医療・介護・福祉の在り方を考える

千春会では、日本の医療・介護・福祉政策の現状や最新情報をしっかりと認識し、将来を見据えながら、地域の皆さまに貢献できるよう、日々、法人全体で研鑽を重ねております。

今年も、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授でもあられる田中 滋先生に、医療、介護業界の方向性、今後の国の動向などを含めた貴重なご講演をいただきました。

毎年、毎年、田中先生にお越しいただくことができ、講演会は、全法人職員の視座を高める場となっております。

また、田中先生は、これまでも長岡京市行政職員における講演をされるなど、地域にとりまして大きな学びの機会を提供していただいております。今回の講演会では、冒頭に長岡京市 中小路市長からもご挨拶がありました。

行政、地域、医療、介護事業所、自治会、学校と地域で力をあわせて取り組む「地域包括ケアシステム構築」へ向け、しっかりと学びを深めた講演会となりました。

埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋 先生

テーマ：地域医療構想と地域包括ケアシステム

埼玉県立大学理事長の田中先生は、長年、日本の医療・介護政策に関わること提言で、国の政策実現にご尽力されるなど、大変幅広い見識をお持ちです。



講演中の 田中 滋 理事長

また、数多くの学会や研究会に所属され、様々な審議会でも座長、議長を務めて来られました。これまで研究者として医療・介護業界における方向性を示唆して来られた功績は大きく、現在は大学理事長としてマネジメントに勤しまれる中、国が目指す「地域包括ケアシステム実現」に向けた重要な役割を担っておられます。

講演会では、「地域医療構想と地域包括ケアシステム」をテーマに、歴史的背景から、2040年という長期スパンでの考察をお聞かせいただきました。歴史的な経緯や社会政策はもとより、経営的観点も含めながら、ミクロ、マクロの視点で掘り下げていただいた有意義な講演会となりました。

まず、歴史的な背景を社会的ニーズの推移において、解説していただきました。

乳幼児の死亡率データを例に、近代医療を受けられるようになったことで子どもの死亡率が激減した経緯を示され、「充足していない医療に対する社会的ニーズの高まり」について言及されました。

歴史の中で、社会問題となる未充足ニーズが、その後の政策対応により満たされてきたこと。その結果、医学の発達により、高齢者の寿命は長くなり、要介護者が増加したこと。それを受け、次なる社会的ニーズとして、介護に対する未充足が生じた背景を、グラフデータ等で分かりやすく示していただきました。介護に対してさらなるニーズが生まれ、その対応として介護提供体制、介護保険サービスが整備されたことなど、時代の推移を細かに解説していただきました。

現在では、社会保険制度により治療を受けられない人はほとんどない時代となり、介護ニーズもほぼ満たされるようになりましたが、それだけでは、人が人として尊厳をもって生活できることにならないため、

人が尊厳を持って生きることを具現化するシステムとして「地域包括ケア」が国家政策の中核となったことも併せて示されました。

将来的な見解の中で、医療界においても、「治すために闘う医療」から「支える医療」への思考変換が必要であること。Quality of death（クオリティ・オブ・デス）を高める医療というニーズ変化が生じてきていること。これから2025年に向けては、今までにない「共生社会」という新たな複合ニーズが生まれていること等を話され、そこから派生した視点「支える医療、看取る医療へのシフト」などについて話を進められました。

また、「地域包括ケアシステム」の対象となるキーワードとして、「ソフトの意味でのまちづくり」「エリアマネジメント」「グリーンケアを含めた看取り」や社会的つながりによる「フレイル予防」などを示されました。

Social determinants of health（健康を決定する社会的要因）にも言及され、今後、健康度に影響する「健康行動」がとれる人を輩出するためには、常時、健康的な思考で動く地域の習慣、健康的な地域環境づくりが重要であることを事例で分かりやすくご説明いただきました。

小児から高齢者を含め、地域に健康行動をとれる雰囲気や環境を生み出すことが求



熱心に聴き入る法人幹部職員

められ、さらにはサービスの統合による「包括的な多世代共生社会の構築」が必要であるとして、新たな社会的ニーズへ向けた取り組みの重要性をお話しいただきました。そして、次なる歴史的展開に備えるとして、超高齢者の急増、死亡者数のピーク、生産年齢人口が著しく減少する状況など、詳細なグラフで分かりやすく解説していただきました。

さらに2025年の後から2040年へ向けた日本社会の目標として、高齢者ではなく、次代の子どもたちに向けた政策にターゲットを絞っていかねばならないとされ、これからの医療、介護の在り方についても、超高齢者の生活支援、AIなどを駆使した支える技術、少なくなる介護人材の配置、人口を維持できる社会の構築など、多角的な視点から、また社会的かつ経営的観点から今後の方向性を示されました。

最後に「変化する社会的ニーズに対処しながら、次代の子どもたちにとってのより良い社会を構築していくことが、今後ますます求められるものである」として、ご講演を締めくくられました。

田中先生からは「これからのサービスは包括的サービスへと変化しており、それを踏まえて千春会は進化しているので、毎年楽しみに講演に来ています。」との、大変ありがたいお言葉をいただき、身の引き締まる中、さらに職員一丸となって新しいニーズへ対応すべく認識を深めた実りある講演会となりました。

千春会は、このような講演会を通じ、現状をしっかりと把握した上で、常に社会的ニーズに対応できる柔軟かつ志ある法人経営にて、地域の方々に貢献できる「医療・介護・福祉サービス」を提供してまいります。

電波でつながる人と人

災害時も情報を共有
FM86.2 MHz



祝 コミュニティラジオ FM おとくに 開局



地域のあれこれを発信

千春会も
バックアップしています！

—災害時はもちろん、防災・防犯の一助も—

12月2日、地域のコミュニティラジオ「FM おとくに」がついに開局しました。「乙訓（おとくに）地域」の長岡京市、向日市、大山崎町2市1町が待ち望んだ地域のラジオ局として、長岡京市（総合学習センターバンビオ1番館1階）と向日市（イオンモール京都桂川）2か所のラジオスタジオから放送が開始されました。

近年、台風、地震、大雨と数々の災害が起こる中、地域に密着した正確な情報が欲しいというニーズは年々高まっています。



千春会の利用者さんもスタジオ見学

乙訓地域災害医療の協力体制においても、コミュニティに届く正確な医療情報は不可欠です。

千春会も地域情報の要となるコミュニティラジオのスポンサーとして、ご協力させていただくこととなりました。

毎週月曜 10時30分～11時55分の楽しいライブ番組の中で、必要時には「医療、介護、福祉」などを中心に皆さまに関わる情報も発信してまいります。

「おいでよ！ FMおとくに開局 イヴ」 記念イベントが 開催されました

JR 長岡京駅前 バンビオ広場にて



イベントのスタジオ対談は
法人職員も参加

開局の前日、12月1日には「イヴ 記念イベント」が開催され、地元の竹を使った楽しいイベントとなりました。ラジオでの対談や JR 長岡京駅前のバンビオ広場では、地域の方々が「竹」で作った「担い茶屋」のお披露目茶会が開催され、出展ブースでは温かい食事や竹細工、竹遊びなど、夜は美しい竹灯りの中、子どもも大人も楽しめるイベントが開催され、



若手茶人：三窪 笑り子さん(左)と
あさつゆの利用者さん、上野副主任

千春会も協賛にて、みんなで開局をお祝いしました。

スタジオ見学会も実施され、「小規模多機能型居宅介護 あさつゆ」の利用者さんが外出行事としてイベントに参加。お茶席でお抹茶をいただいたり、スタジオ見学をするなど、皆さん地域に溶け込んでとても楽しそうでした。

どんな時も生き生き過ごそう！
地域で支える認知症へ

認知症を正しく知る活動

RUN伴(ランとも) 開催

認知症になっても心豊かに過ごせるよう、
認知症を正しく理解し、地域と共に支えるための
タスキリレー「RUN伴(ランとも)」が、
今年は京都を縦断して開催されました。
千春会にも協力依頼があり、トイレや休憩場所の提供、職員の伴走など可能な限りのご協力を
させていただきました。



介護複合施設 東向日にて

千春会もサポート協力

千春会病院
サービス付き高齢者向け住宅 パティナー 一文橋
介護複合施設 上植野・介護複合施設 東向日

当日は、「サービス付き高齢者向け住宅パティナー 一文橋」前から職員が伴走。

「介護複合施設 上植野」を中継、さらに休憩ポイントとなる「介護複合施設 東向日」へ。

「東向日」では、職員が温かいおぜんざいや飲み物を準備。施設の利用者さんや地域の方々もたくさんピロティに集合して下さり、走って来られる皆さんの到着を楽しみに待ちました。

ランナーは子どもやご高齢の方が一緒に自分のペースで走ります。東向日まで走って来られた皆さんと「ハイタッチ」をしてエールを交歓。手作りの「おぜんざい」を提供させていただくと「温かくておいしいね！」と大喜びして下さいました。



「介護複合施設 東向日」では「おぜんざい」を振る舞い応援



ここからは、さらに東向日の職員も合流し、一緒にゴールへと走り、ついに最後まで伴走！

笑顔でお互いを讃え合いました！

しっかりタスキをつなぎ、笑顔と共に、多くの方々が支え合った、心温まるランニングは、こうして無事終了いたしました。

これからも千春会は、認知症になっても
生き生き暮らせるまちづくりに
様々な形で協力してまいります。

RUN伴(ランとも)とは

地域の方と認知症の方が会うことで、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくる第一歩として、認知症の方や家族、支援者、地域の人が少しづつリレーしながら1本のタスキをつないでいくイベント。



パティナー 一文橋にて

施設見学会 開催 各事業所一斉

今年も各介護施設の施設見学会を開催し、ご家族様や居宅介護支援事業所ケアマネージャーの方が施設を訪問されました。



丁寧に質問に答える職員

職員の案内で利用者さまの様子を見学したり、施設設備などの説明を聞きながら、各施設内を見学してまわられました。

見学会後に質問などをゆっくりお受けする時間も設け、皆さまの理解を深めることができた、充実の見学会となりました。

「ゆっくり説明を受けながら見学できましたので、さらに安心することができて良かったです」とご家族さまも喜んでおられました。



「千春会研修センター」稼働中!

JR 長岡京駅前 バンビオ 1 番館 7 階

昨年 8 月に開設した「千春会研修センター」が、しっかりと稼働し始めました。

こちらは地域の介護研修の要となるべく、様々なスキルの提供を目指して開設した研修センターです。

10 月 1 日からは「介護初任者研修講座」の講習会が始まっています。

第 6 期となる今回も、在職中の千春会職員はもちろん、一般の方々も講習会に参加されており、しっかりとスキルを得て、資格取得ができるよう共に頑張っておられます。

座学に加え、研修センター屋外のバンビオ広場にて、坂道を車椅子で移動したり、階段の昇降など、実地研修を行いました。

さらに実際の介護状況を想定して、身体の不自由な方と同じような状態で、車椅子への移乗を体験してもらいました。アイマスクで何も見えない状態にした受講者の方から思わず「怖い!」



バンビオ広場で屋外研修



指導中の研修担当者

と声が上がったり、片方の足が動かせない体験では「頭で考えていたことと、違っており、びっくりしました。」と驚く方も。

また、指導している専任の研修担当者は、軽々と車椅子で階段を昇降しますが、実際に皆さんが動かしてみるとかなり扱いが違うようで、最初は四苦八苦。参加者は「介護者と利用者も両方体験し、外出時やご自宅での段差を車椅子ではどのように動かすのかを体験しました。実際の場面が想定できて良かったです。難しいですが、コツがあるそうですのでしっかり学んで行きます」と、資格取得に向けて頑張っておられました。

今後は、ご家族様向けの介護講習会や事業所向けの研修なども予定。さらに充実した研修センターを目指します。



交代で勉強中

未来を担う若者へつなぐ 学習、体験、実習で知る医療と介護

千春会では、小学生から大学生まで、例年、多くの体験実習や見学を受け入れています。次代を担う若者が将来の夢に一步でも近づけるよう、様々な形で積極的に支援してまいります。

未来の医師へ

兵庫医科大学より 医大生の実習受け入れ

将来、医師を志す、兵庫医科大学の大学生が「医療と介護の連携」を学ぶべく、2度にわたり当法人へ。

「チーム医療」「医療と介護の連携、融合」の観点から、理事長、院長はじめ、担当の先生から法人の取り組みについてお話しがあり、



奥田 Drからチーム医療を学ぶ大学生たち

医師だけでなく様々なプロフェッショナルが協働していくことの重要性を学んでいただく機会となりました。

今後さらに重要となる「在宅復帰」「認知症対応」などについて、その役割を担っている「超強化型老健:介護老人保健施設 春風」とグループホーム併設の「介護複合施設 今里」の2施設を見学しました。

「短い時間でしたが、多職種の方々との密接なチーム医療の在り方や他部署の仕事内容など、さらに介護についての関わりなどを知ることができました。」との声が聞かれました。様々な医療、介護現場を知り、より深い知識を持った医師となっていただくことを願っています。

ワクワクドキドキの 中学生実習

向日市立寺戸中学校

長岡京市立長岡第三中学校

立命館中学校

今年も、長岡京市、向日市のかわいらしい中学生が千春会病院と介護施設で職場体験を行いました。病院（医局、看護部、放射線科、リハビリ科、検査科、薬剤科）では、薬の処方、実際に分包機を使用したり、内視鏡のカメラ映像や放射線科のレントゲン写真など貴重な体験から、仕事には多くの種類があり、患者さんには様々な人が関わっていることを知ってもらう良い機会となりました。介護職体験では、レクリエーションはじめ、おやつ作りや体操など、利用者さんと楽しく過ごし、明るい笑顔があふれていました。

- ★利用者さんとお話がとても楽しかった。おやつ作りを一緒にしたり、昔の話を聞かせてもらえたり、本当に楽しかった！
- ★看護部さんは、いつも本当に優しく笑顔を絶やさず接しておられ、すごいなあと思ひ、将来看護師さんになりたい気持ちが強くなった♡
- ★しんどい仕事を皆さんが楽しそうにされていて、私の気持ちも明るく♡
- ★施設が明るくて、きれいなのに、びっくり。
- ★将来医療系にいきたいので、先生が一人一人の患者さんに親切にされているのがすごい！
- ★リハビリ科の方が患者さんに寄り添ってリハビリをしていて、看護師さんのようでスゴイと思った。
- ★ベッドでもリハビリをしておられビックリした。
- ★放射線科でレントゲン写真をみせてもらった。身体の内部を知ることができるのに驚いた。
- ★一緒に体操をしたり、ゲームをしたり、元気な方が多くて、施設の想像とぜんぜん違っていた。



院長(左)から内視鏡画像の説明を受ける中学生たち

おめでとう！ みごと優勝！

歳時記
1

第12回 乙訓消火技術競技会にて 並み居る強豪を制し見事優勝！

千春会 自衛消防隊 女子チーム

毎年開催される「乙訓消火技術競技会」で、今年は並み居る強豪を制し、消火器部門にて見事、「優勝」を飾りました！ 例年素晴らしい成績を取める強豪の各企業自衛消防隊がひしめく中、きびきびした動きと的確な消火で、高い

評価を得た女子チーム。仕事が終わった後も、しっかりと消火技術を磨くべく、練習を重ね、競技会に臨んだ賜物です。男子は惜しくも及びませんでした



気迫で炎に立ち向かう管理栄養士の中塚さん



優勝の盾を手に辻・中塚管理栄養士より法人へ報告
菊地理事長(右)、藤原院長(左)

快挙！

い！」と、日々の高い防火意識が今回の優勝につながっています。

これからも優勝に甘んじることなく、全職員が心がけ、防火活動を高めてまいります。

歳時記
2

長岡京市
合同運動会にて

2度目の 優勝を獲得！

小規模多機能型居宅介護
あさつゆ



初出場で優勝した一昨年、総合2位の昨年、そして今年は、なんと2度目の「優勝」となりました。おそろいの紫の鉢巻、ユニフォーム。今年の応援は力いっぱい！ 玉入れでは見事なチームワークで全ての玉を入れ切ることができ、堂々の第1位！ 楽しく元気に頑張った、笑顔が勝利の力です！



優勝に大喜びのあさつゆ利用者さん

歳時記
3

おめでとう！ 勤続5年

勤続5年表彰状と感謝状が贈呈されました
障害のある市民の雇用フォーラム

鳴滝総合支援学校を卒業して、介護複合施設上植野で勤務する安永由香理さんが勤続5年の表彰を受けました。安永さんは、真面目でやさしい人柄で、職員にも利用者さんにもかわいがられ、確実にステップアップする中、今では頼りにされる存在となっています。表彰式当日は、小林マネージャーと共に出席し、表彰状と感謝状をいただきました。

いつも穏やかな笑顔で仕事に励む姿は素晴らしく、今後も千春会は、障がい者の方が自立した職員として、いつまでも共に働ける環境をさらに講じてまいります。



表彰状を手に安永さん(右)と
小林マネージャー

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

新年の長岡天満宮は、幸願う人々で賑わいます。

青竹の清々しい水手には、青龍の内よりいづる湧水が輝いて、凜と掘むは乙訓の地。揺るがぬ「理念」を礎に地域に根付く千春会のようにしっかりと。

千春会は、これからも全力で地域を支え、「志」高く邁進してまいります。

力強く天に昇りし青龍のように…。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、

患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615